



常陸太田アグリ通信

令和2年1月15日

茨城県県北農林事務所経営・普及部門(常陸太田地域農業改良普及センター)



【第4回少量多品目生産売れ筋野菜栽培講座を開催しました】

12月3日(火)、常陸太田合同庁舎大会議室において、令和元年度「少量多品目生産売れ筋野菜栽培講座第4回講座」を開催し、「道の駅ひたちおた」に出荷している生産者23名が参加しました。

はじめに、普及センターから、「2～3月出荷の野菜」と題し、レタス、ホウレンソウ、ダイコン等の栽培管理方法について講義を行いました。またこれから種をまく野菜は、トウ立ちしないような温度管理が重要になるため、トンネル栽培や品種選定時のポイントについても、併せて説明しました。さらに「農薬の安全使用」について、農薬の剤型や性質ごとの効果、使用する際の調製方法等の講義を行いました。

また、常陸太田市役所からは、各種補助制度について説明があり、新規品目の栽培や規模拡大をする際にはぜひ有効活用してほしいと呼びかけました。

普及センターでは、今後も関係機関と連携して、少量多品目野菜の安定生産と直売所の品揃えの向上を支援していきます。



【女性農業者と女性農業士の交流会を開催しました】

12月19日(木)に、常陸太田市内の女性農業士宅で管内女性農業者と女性農業士あわせて8名による交流会を開催しました。

交流会は、ブドウの剪定枝を活用したリース作りと女性農業士が持ち寄った料理を囲んでの意見交換を行いました。

リース作りでは、女性農業士の指導のもとブドウの剪定枝を輪にして、ヒイラギの葉やオーナメント等で飾りつけしました。作業中は会話も弾み、参加者同士の交流も深まったようでした。

意見交換会は、女性農業士らがそれぞれに持ち寄った料理を食べながら行いました。日頃の農作業や家庭のことなど、ざっくばらんに意見交換し、有意義な時間となりました。

今後も、普及センターでは女性農業者の意見集約や農業に関わる情報提供等による支援を継続的に行っていきます。



【第3回保存食・常備菜研究会活動を開催しました】

「保存食・常備菜研究会」は、11月28日(木)に、常陸太田市の中里交流センターで第3回目の活動を行い、会員6名が出席しました。この会は、管内で農産加工に取り組む生産者12名で構成されたグループで、会員が考えたレシピをもとに調理を行う勉強会を開催しています。

今回は、「柏餅」を2種類作りました。まず、レシピを担当した会員から材料や作り方の説明があり、その後全員で調理を行いました。

a. もち生地にあんを入れ柏の葉で包んでから蒸す方法、b. もち生地を蒸かしてからヨモギあんを入れて柏の葉で包む方法、の2種類の方法で作りました。試食の際には、a. は、葉からはがれやすいが、すぐに硬くなってしまふ。b. はもち生地がよく伸びあんが包みやすいが、もち生地が葉からはがれにくい。といった意見が出され、改善に向けた情報交換が行われました。



【常陸太田ぶどう部会が冬季講習会を開催しました】

12月14日(土)に、JA常陸 常陸太田ぶどう部会は冬季講習会を開催し、部会員約30名が参加しました。

講習会は、今年度の果実品評会において茨城県知事賞(雨よけ種あり部門 最優秀賞)を受賞したほ場を会場として、せん定について講習を行いました。

まず、資材メーカー2社より、果実袋や誘引結束機について実際の商品を使って紹介があり、次に、普及センターより病虫害防除、鳥獣害対策、せん定方法について講習を行いました。

せん定の実演では、生産部長が実際にせん定を行いながら、部会員に巨峰の長梢せん定方法を説明しました。また、講習を行ったほ場の樹の多くがロケット式一文字整枝のせん定を行っているため、この新しい技術の紹介として、園主がせん定を実演しながら、せん定方法を説明しました。

普及センターでは、今後もブドウの高品質安定生産にむけて支援していきます。



県北農林事務所Twitterアカウントを開設しました ♥

県北地域の農業・農村振興に関することや農業関連のイベント情報も発信しておりますので是非ご覧下さい。【URL】<https://twitter.com/ibahokunourin>

